



▶ 7 mars 2015

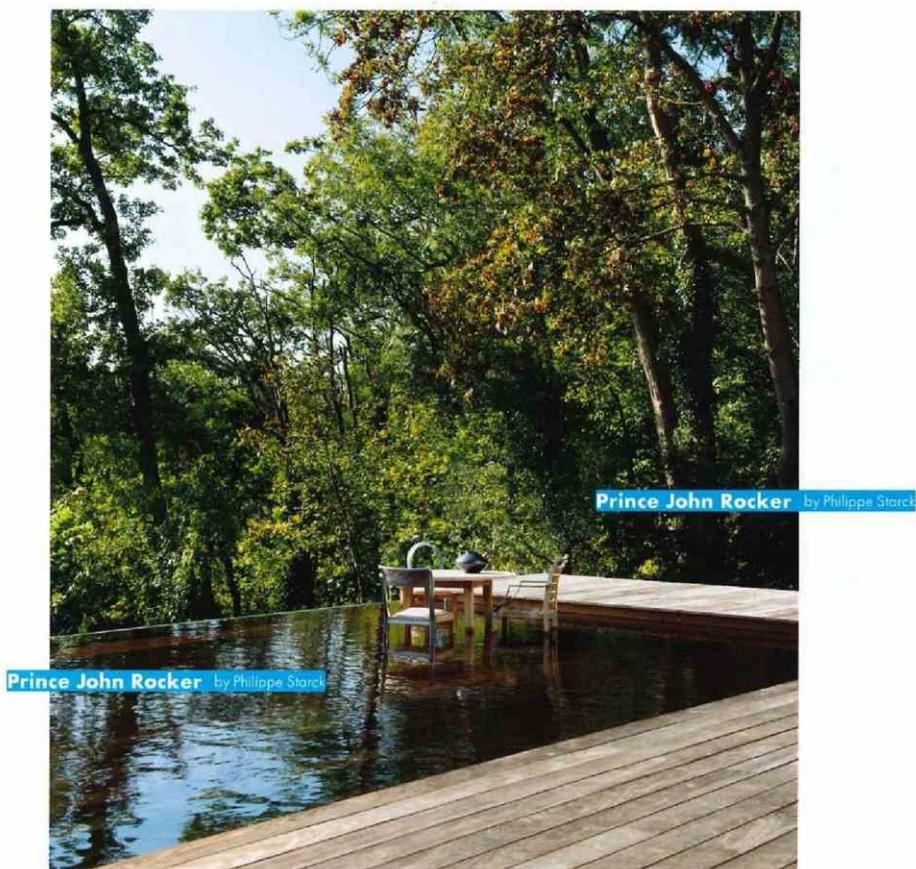
Media category: Magazine  
Date: 2015/3/7  
Media name: ELLE DECOR  
Media company name: HEARST FUJIN GAHOSHA  
Circulation: 70,000

Headline: Prince John Rocker by philippe Starck

## 自由奔放な椅子が未来を語る フィリップ・スタルクの実験ハウスへ

フィリップ・スタルクが提案する環境に優しいプレハブ住宅のプロトタイプと、その空間のために厳選された椅子たちから、未来へのメッセージを読み解こう。

photos : GILLES TRILLARD, JEAN-BAPTISTE MONDINO (portrait)  
realization : MARIE-CLAIRE BLANCKAERT original text : LAURENT MONTANT text : ASAKI ABUMI



昨年10月、パリ郊外のモンフォー  
ルラモリーに建てられた、フィ  
リップ・スタルクのデザインによる  
実験ハウス「P. A. T. H」がつ  
いにペールを脱いだ。  
「この家は30年前から構想していた  
もの。未来を生きる子供たちのため  
に、環境に配慮した家を手の届きや  
すい価格で作る。それが、究極  
の住宅だと考えたんです」とスタ  
ルクは振り返る。  
「室内のインテリアは、私と妻のジ  
ヤスミンでスタイリングしました。  
これまでのキャリアの中で手がけて  
きた椅子や家具がこの家には並んで  
いません」  
ダイニングや屋外プールで輝くの  
は、自らデザインした「プリンス・



### Philippe Starck

フィリップ・スタルク

1949年フランス生まれ。建築家、デザイナー、クリエイター、  
投資家など、多分野で活躍する総合的なデザイナー。  
妻のジャスミンも本ページのP.A.T.Hプロジェクトの  
室内の装飾デザインに携わり、週末には家族でこの家を訪れている。  
<http://www.philippe-starck.com/>



ダイニングの主役は  
スタルクの「プリンス・ジョン・ロッカー」  
右ページ プールではスタルク自身がデザインした  
サザンランドのロビンウッドコレクション「プリンス・ジ  
ョン・ロッカー」が登場。ナチュラルチーク材とステンレ  
ス製の椅子の素材が、プールの水面と共に煌めく。  
左ページ ダイニングにも「プリンス・ジョン・ロッ  
カー」ジュエルバンスによるクッション「アーティスト」  
と共にダイニングを彩る。外の森林と、木製の家具  
の調音で、まるで山小屋にいるような癒やしの効果  
がもたらされる。

Prince John Racker by Philippe Starck



▶ 7 mars 2015

人が集い語らうところには  
座り心地のいい椅子が並んでいる  
リビングでは、ソファや椅子が円を描いて語り合う。  
両側にある革のアームチェアは北歐からやってきた。  
クッションはジュール・バンスによる「アーティズト」、カ  
ーペットはイケアの「モラム」。34名の設計パターン  
が用意されているこのプロジェクトに対し、「それぞれの  
家族が望んでいた「夢の家」を叶えられる可能性を  
実現したかった」とスタルクは語る。

個性豊かな椅子を並べて  
完成した未来の家



ジョン・ロッカー」。「メタルとチーク材を組み合わせた前衛的な椅子だ。同じく彼がデザインしたエメコの「バー・チェア」や、フランコ・アルビニの名作「トレ・ベツツイウール」なども顔を揃える。夫妻に選ばれた個性の強いヴィンテージチェアとともに、各部屋の佇まいを印象深いものになっている。

スタルクと組んでこの家作りを進めるのは、スロベニアのハウスメーカー、リコ社。「サステイナブルでエコロジー」をキーワードに、太陽光発電と風力発電を導入したこの住宅は、通常より50%も効率よくエネルギーを生産が可能だ。またプレハブ工法で建設するため、予算も安価に抑えることができる。

「将来的にはカタログに家の装飾を載せて、購入者に選んでもらえるようにしたい。プールひとつ追加して椅子はこれ、カーテンはこれ、というようにね」。誰もがフィリップ・スタルク設計の家を建て、カタログを見ながらコーディネート・オプションを選択できる時代が、まもなく到来するかもしれない。

「未来の世界ではトレンドという尺度は希薄になっていくでしょう。私たちは個々の要望や暮らし方に沿った自由な選択肢をもつべきです。ひとりひとりが自分の個性に誇りをもてるようにね。それを手助けするのが私の使命だと思っています」

スタルク夫妻が室内に配したさまざまな魅力を持った椅子たちには、そんなメッセージが込められているに違いない。



▶ 7 mars 2015



Bar Chair by Philippe Starck



Tre Pezzi Wool by Franco Albini

ルールに縛られないのがルール!  
椅子も奔放にコーディネート

1. 木製の天井の下でテーブルを囲むヴィンテージとモダンな家具たち。ホッフィのキッチンに着いているのはユニークな形の木製チェア。右側にあるのはスタルクがデザインしたエメコの「バーチェア」。  
2. モンフォール＝ラモーリーの森が見渡せる寝室にはフランコ・アルビニによるカッシーナのチェア「トレ・ペッツィ・ウール」が。ベッドはスタルクがカッシーナから発表した「スリーピー・ワーキング・ベッド」。  
3. 林の中に佇むプロジェクトハウス第1号。「リビングと5つのベッドルームを備えたこの家の価格は、60万ユーロ前後。部屋数はお好み次第。将来的にはカタログで設備のオプションもすべて選べるようになるのが理想だね」とスタルク。